

自然の中での体験学習や森林環境教育の機会を提供し、豊かな人間性や社会性を育むことを目的とした施設

整備のコンセプト:

森林の機能を体験・楽習できる 拠点施設としての魅力向上

◆植栽景観の現状の課題

- ・森林の面積が広大(約12ha)であり、森林が放置されたままの状態になっている。
- ・樹木が繁茂し、不快な空間が形成されている。
- ・景観環境が阻害され、生育環境が悪化している。

課題解決への
主な対応

- ・間伐、支障木の伐採による森林環境の魅力向上。
- ・サクラや広葉樹等による彩り植栽の充実。
- ・生産・防災・生物多様性・レクリエーションの4機能を重視するスイス型森林管理を取り入れた森林整備。

【今後の連携方策】 有識者から意見聴取しながら、植栽計画を推進

◆エリアの特徴的な景観

□ 森林モデルを提案するエリア
(県のモデル林として整備・活用するエリア)

長期 スイス型森林管理の手法を取り入れ、
県のモデル林として整備を実施する。

現況写真



希望の丘周辺



整備後のイメージ(恒続林)

□ 森林環境教育プログラムを実践するエリア

管理 間伐等の実施により、森林の整備を図る。

長期 池周辺の支障木を伐採し、水辺環境の
保全を図る。

現況写真



大型ロッジ付近



間伐後のイメージ(整備林)



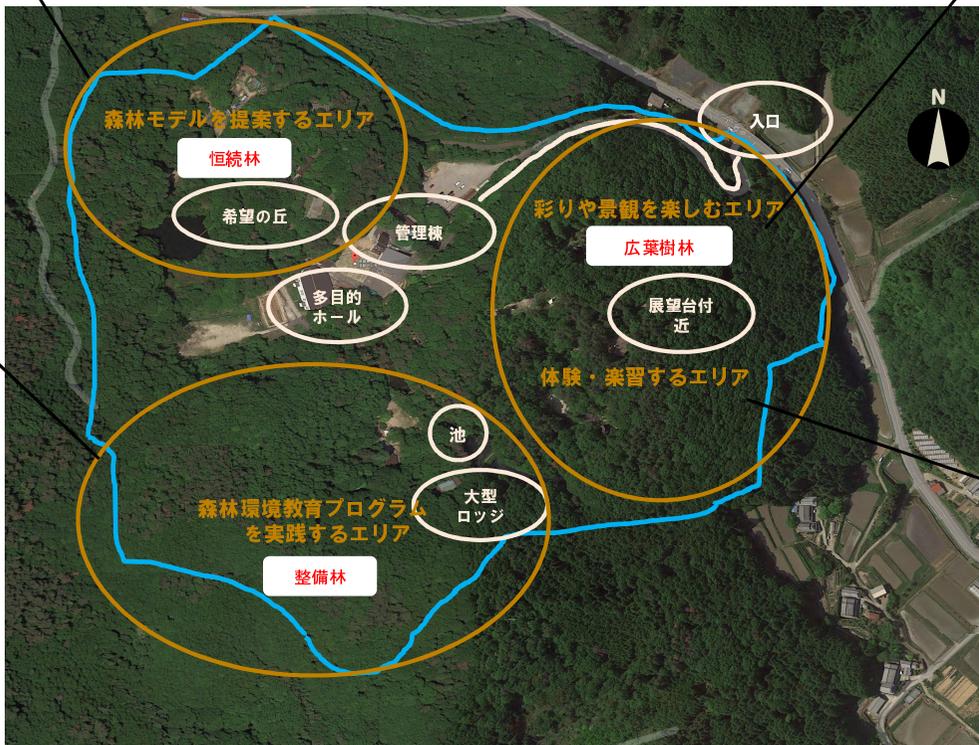
管理棟周辺



池と周辺の景観



展望台からの景観



□ 彩りや景観を楽しむエリア

短期 入口付近から管理棟までのエントランス部分において、サクラや広葉樹の植栽を行い、彩りある景観づくりを行う。

管理

間伐等により、快適な森林空間を演出する。

現況写真



入口付近

現況写真



管理棟手前



整備後のイメージ(サクラの植栽)



整備後のイメージ(広葉樹の植栽)

□ 体験・楽習するエリア

(森林のレクリエーション機能や生物多様性機能を体験・楽習できるエリア)

長期 実のなる木を植樹することにより、多種多様な動植物・昆虫・野鳥などが生育し、自然を体験・楽習できる場を創出する。

現況写真



展望台付近



整備後のイメージ(広葉樹の植栽)